

臨床腫瘍遺伝子研究部

■安藤 清宏 医長

展望

臨床腫瘍遺伝子研究部は分子生物学的手法を用いたがんの基礎研究を患者さんの診断や治療に応用することを目的とした研究部門です。現時点ではいくつかの設備を外部の研究機関に頼らざるを得ませんが、将来の先端医療センター開設を見据えて世界レベルの成果を生み出す研究室を目指して研究組織体制および設備の整備を行っています。

論文発表

Yu F, Gao W, Yokochi T, Suenaga Y, Ando K, Ohira M, Nakamura Y, Nakagawara A, RUNX3 interacts with MYCN and facilitates protein degradation in neuroblastoma. *Oncogene* 2014; 33: 2601-2609.

学会発表

安藤清宏, 佐藤勉, 小林修三: CHK1阻害剤はMYCN増幅神経芽腫のp53非依存的アポトーシスを誘導する. 第37回日本分子生物学会年会, 横浜, 2014, 11.

外部資金獲得状況

平成26年度 科学研究費助成事業研究活動スタート支援
NFBD1/MDC1抑制効果を応用したがん治療への分子機構の解明と生物学的因子の同定 (課題番号25893292)